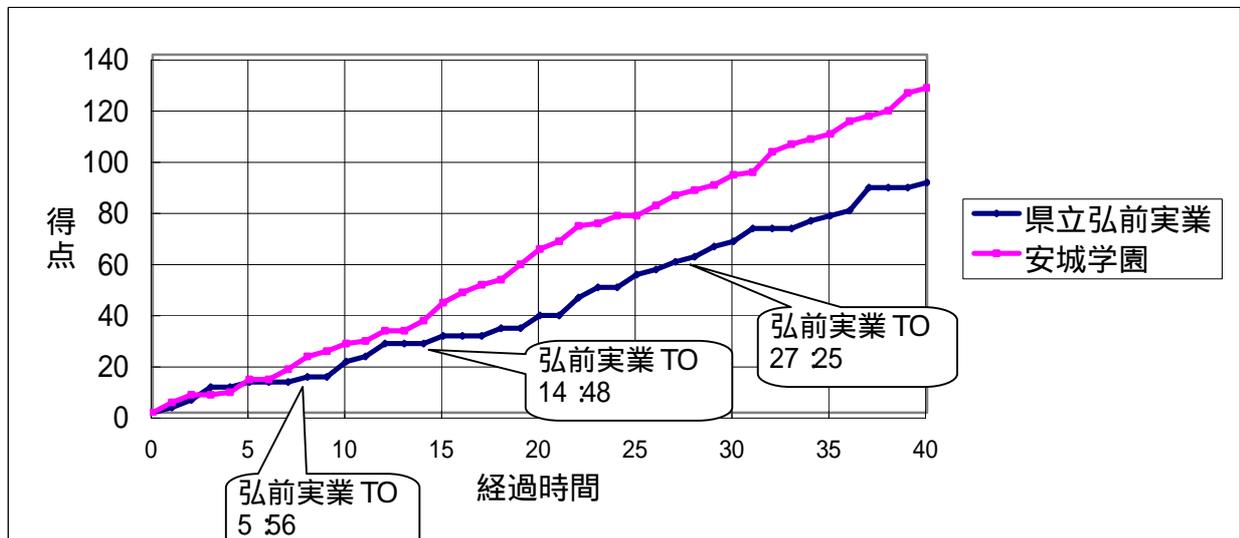


大会名	平成19年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会第60回全国高等学校バスケットボール選手権大会	J3	12:50	男子 1回戦	
		県立弘前実業 青森	90	20 - 27 18 - 37 29 - 29 23 - 34 -	127 安城学園 愛知
期日会場	2007年(平成19年)7月29日(日)	厳木高等学校			



県立弘前実業

No.	氏名	点	3P	2P	FT	F
4	佐藤 浩貴	2	0	1	0	2
5	小山 幸広	13	0	5	3	4
6	鈴木 勇大	2	0	1	0	5
7	大高 光展	43	11	4	2	1
8	三浦 祐太	6	0	3	0	0
9	小野 充貴	2	0	1	0	5
10	長内 佑介	2	0	1	0	3
11	三浦 昌喜	16	4	2	0	4
12	小野 理志	0	0	0	0	0
13	田澤 瑞規	4	0	2	0	4
14	橋本 真弥	0	0	0	0	0
15	馬場 貴徳	0	0	0	0	3
16						
17						
18						
コーチ	相川 断					
	合計	90	15	20	5	

安城学園

No.	氏名	点	3P	2P	FT	F
4	佐藤 諒	13	0	4	5	1
5	加納 誠也	14	2	0	8	1
6	伊藤 大	29	4	8	1	1
7	北林 透	22	3	5	3	2
8	村田 隆行	2	0	0	2	2
9	亀鷹 良輔	12	2	3	0	1
10	田中 和也	4	0	2	0	0
11	戸嶋 純也	14	1	5	1	1
12	豊永 辰樹	2	0	1	0	2
13	井潤 直哉	9	0	3	3	0
14	加藤 健太	4	0	2	0	0
15	八木 優彦	2	0	0	2	0
16						
17						
18						
コーチ	金子 寛治					
	合計	127	12	33	25	

はスターター ( はキャプテン) 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

## 戦評

一回戦、青森県代表の弘前実業高校と愛知県代表の安城学園高校の試合。お互いビッグセンターを擁するチーム同士の戦いは127対90で安城学園が勝利した。第1P、開始から安城学園#5加納のオフェンスリバウンドからのフリースローで先制。その後、オールコートプレスで弘前実業にプレッシャーをかける。一方、弘前実業は#7大高がこのクォーターだけで3Pを4本決め活躍を見せる。第1Pは27対20で安城学園リード。第2P、安城学園#9亀鷹のドライブイン、#6伊藤の3Pで差を広げ、巧みにハーフコートゾーンを使い、弘前実業にリズムをつかませない。第2P残り5分、弘前実業は#6鈴木が4つめのファウルで交代し、苦しい展開。逆に、安城学園は#4佐藤のスピードあるプレイや#5センターの加納の3Pなどで点差を広げる。弘前実業も#11三浦の3Pで追いつくが、64対38で前半終了。第3P、安城学園#7北林が開始1分で9得点の活躍、一気に30点差にする。弘前実業は1対1を中心に早いシュートで反撃。安城学園の26点リードで終了。第4P、弘前実業はオールコートゾーンプレスでボールを奪いにいく。しかし、残り6分で5回目のチームファウル。その後は安城学園のフリースローが多くなり、逆に点差が開いていく。弘前実業は#7大高が3本連続の3Pを決め、この試合43得点と意地を見せるが、得点力に優る安城学園が全員得点をあげ、127対90で勝利。弘前実業も最後まであきらめずお互いのスピードが光った好ゲームであった。

記載者 原田 浩臣 (所属) 佐賀県バスケットボール協会